

令和 6 年度事業報告

(1) 第 6 回定時総会の開催

令和 6 年 6 月 22 日（土）、府中キャンパスにおいて第 6 回定時総会を開催した。議事内容は、審議事項として、議事録署名人選出の件、令和 5 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の件、並びに選挙管理委員選出の件、報告事項として、令和 5 年度事業報告の件、令和 5 年度監査報告の件、令和 6 年度事業計画の件、令和 6 年度収支予算の件、その他とした。

(2) 令和 6 年度各種会議の開催

理事会を令和 6 年 5 月、11 月及び令和 7 年 3 月に開催した。令和 6 年 11 月には、副会長懇談会・部会長会並びに支部長会を開催した。

(3) 同窓会組織の強化及び活性化

1. 一般社団法人に相応しい安定的な運営体制を確立するため、規則の見直し及び財政運営に関する検討を実施した。
2. 部会・支部・職域組織における同窓意識の向上と会員交流の促進を図る施策として、継続して同窓会会報「農工通信」を発行するとともに、同窓会ホームページによる各種情報発信の充実を図った。
3. こうほう支援室の事業として、大学との連携・協力の下、同窓生が各地域や職場で活躍している情報を在学学生、高校生、会員等、学内外に広報するための取材活動を行い、その成果を同窓会 HP のサイト「交流ラウンジ」に掲載した。
4. 学内外に対し、同窓会活動への理解を求めするため、同窓会紹介パンフレット及び同窓会 WEB サイトによる PR 活動に努めた。
5. 部会・支部からの要請に応じ、運営委員等本部役員を派遣し、同窓会本部との交流を促進した。
6. 部会・支部活動の活性化に向けた支援策を検討するため、部会長会及び支部長会において意見交換を実施した。
7. 卒業生に対し、大学が発行する証明書の発行手数料の一部を援助した。
8. 同好会活動に対し、運営費の補助を行った。
9. 入会金・賛助会費等の会費納付率向上を図るため、同窓会入会の再案内を実施した。
10. 賛助会費等の払込票を入会申込書と兼用することにより、入会葉書による手続きを省略し、郵送料の削減を図った。
11. 農工通信の未着信会員について、追跡による動静調査を実施した。
12. 祝電・弔電による祝意・弔意を表するとともに、本会の発展に顕著な功績があった者に対し感謝状を贈呈した。

(4) 準会員（学生）に対する援助事業の実施

1. 大学と協力し、同窓会推薦キャリア・アドバイザーの派遣や合同企業説明会への協力等の援助を行い、同窓会準会員（学生）に対する就職支援を実施した。
2. 準会員の勉学・学生生活に関し、学会・コンテスト・コンクール等の発表・入賞祝金、学会誌・論文誌発表等援助金、優秀卒論副賞等の援助金、学園祭・課外活動への援助金、並びに卒業・修了証書カバーの贈呈を行った。

(5) その他

東京農工大学創基 150 周年記念事業として、学生環境整備への充当を目的とし、府中及び小金井キャンパスにそれぞれ 10,000 千円の寄附を行った。府中キャンパスにおいては、3 月に新設された「西東京国際イノベーション共創拠点」の調度品として、当該地支障木や演習林樹木を材料として製造した家具を寄贈した。また、小金井キャンパスにおいては、学生が休息できる場所の整備に本寄附金を充当し、工学部総合会館の一部が令和 7 年度に改修される予定である。